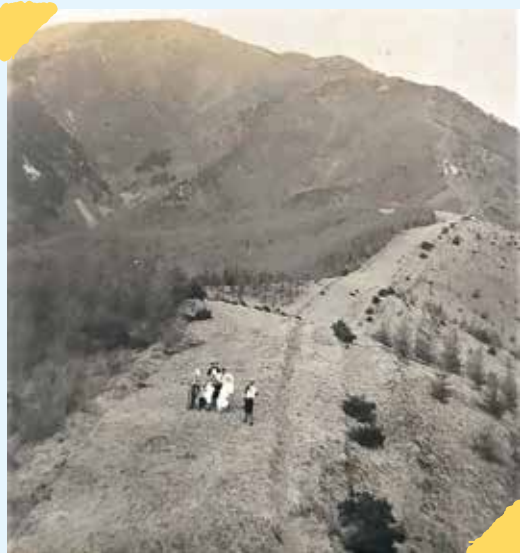


わがまちさんぽ 第4回

坂城町の身近な話題をお届けします。

= 坂城町を見渡す風景 =



昭和12年 五里ヶ峰を望む

今号、皆様と共に川中島の戦いにて活躍をした「村上義清公」が滞在していた葛尾山の散歩をしたい。

葛尾山と聞くと幼少期父より見せられた遠い昔の写真のことを思い出した。押し入れよりアルバムを引っ張り出し、そこには当時の風景が多く残されていた。その中には葛尾城跡の写真があり、今とは異なる姿を見ることができ、東屋と鉄塔のようなものも写っている。また、教育委員会所蔵の資料には「葛尾城頭 鉄の供出で破却 金五百円 坂城役場へ 保存会の貸分」との記載があった。

父の幼き頃の記憶では、先の大戦により銃器等の一部とすべく国へ差し出したと聞かされていたようである。

この鉄塔は、坂城町史蹟勝地保存会による「葛尾城址保存事業」のひとつとして昭和7年に建てられた記念塔だという。

わが町の歴史、記憶として詳細をご存知の方がいらっしゃれば、ぜひお話を伺いたい。
(大日向 進也)



葛尾城跡（教育委員会 所蔵）

日和

坂城町荻屋原の山肌を見上げると、そこには里人の幸せを願いながら、お経を唱える姿のまま石になったと伝わる名勝《比丘尼石》がひっそりと佇んでいる。

千曲川を吹き抜ける風と時を止めた祈りの石。かつて戦国領主村上氏が治め、北国街道の宿場町として栄えた地域の歴史を見守ってきた。

激動の時代を生き抜いた人々の祈りや、大切な人を想う優しさが、今もこの街の静かな景色の中に息づいている。

千曲川のせせらぎを聴きながら、歴史の面影を残す石碑や巨石をめぐり遙か戦国の世に想いを馳せる。そんな、心が洗われるひとときが、ここ坂城町には流れている。

(星 哲夫)

発行責任者 議長 中嶋 登
広報発行対策特別委員会

委員長 大日向進也
副委員長 塚田 舞
委員 星 哲夫
中村 忠靖
宮入 健誠